

平成24年度南砺市健康づくり推進協議会 会議録

日時	平成24年12月12日(水) 18:55~20:25 場所: 南砺市役所福野庁舎
出席者	①南砺市健康づくり協議会委員 :佐伯会長、齋藤委員、沖田委員、大江委員、山本委員、浅田委員(代理)、土居委員 武田委員、増田委員、富澤委員、東委員、浦出委員、長谷川委員、中林委員 欠席者:西村委員 ②民生部長 ③事務局(4名)
配布資料	南砺市民健康プラン(第2次)(案) 健康プラン(第2次)追加統計 南砺市健康づくり推進協議会第1回会議録 南砺市健康プラン(第2次)案の変更点 南砺市健康づくりに関する意識調査結果報告書(第1報)
番号	議事内容
1. 開会	
2. 挨拶	民生部長、会長
3. 協議事項	<p>(1)市民健康プラン(第2次)(原案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案の修正並びに変更点について事務局より説明 ・前回の意見等に関する対応について事務局より説明 <p>質疑応答</p> <p>会長 国のプランに沿って作ったということだが、まずは骨組みの変更について何かあるか。 委員 自殺中心の話であるが、県はひきこもりの解消について検討している。自殺防止も大事だがそれ以上に今の若者をどう育てていくのか。まだまだ心のケアをしないとイケない気がする。</p> <p>会長 自殺だけでなくひきこもりもこころの健康に入れたらどうかということだね。 事務局 ひきこもりの実態については把握できてないところがある。厚生センターで相談会などを開催していただいており、健康カレンダーには相談会の開催についても掲載している。</p> <p>会長 学校や会社に聞けば把握できるのではないか。まず把握することが大事。登校拒否ということもあるだろう。会社で産業医とかしているとうつで仕事に来なくなった人がいることが散見できる。そういうところから情報が入ってくるのでは。 事務局 学校については教育委員会で、会社については産業保健のほうで取り組んでいるのではないか。</p> <p>会長 確かにそうかもしれないが、自殺ばかりでなくうつとかで学校を休むとかは、こころの健康の面で障害が生じているということ。現状を把握しないと解決できないから、現状把握をするために学校とか産業保健センターに聞いてみると何か分かってくるのかもしれない。</p> <p>委員 自殺ばかりにいつてるというご指摘だが、心の健康づくりの指標は健康日本21でもいくつか謳われている。その中でいくつかサンプルがあるので、これに基づいてやれば良いと思う。市が入手できる資料として、例えば高齢者のうつリスク、高齢者のひきこもり、とじこもり、これらはデータを持っているので、そういうもので考えてもいいかなと思う。</p> <p>会長 国の健康日本21にはどんなものがでてるのか。 委員 例えば、心の健康づくりについてはメンタルヘルスに取り込む事業所を増やすとか。 会長 事業所というと今回のプランの意図するところと違ってくるのかな。 事務局 国が示すこころの健康の目標項目は、メンタルヘルスを受けられる職場の割合の増加、子供の心身の問題に対応できる精神科医や児童小児科医の増加である。県や国で取り組んでいただいたらいいような指標で、こころの健康について私たちが分かるのは自殺というこの指標になる。</p> <p>会長 健康プランの中では自殺を中心にやるということでもいいか。 委員 高齢者のうつはデータとしてもっているが、それは高齢者福祉計画の中で成されているからそれでいいという考え方ならそれでもよいのかなと思う。</p> <p>会長 プランの中では心の健康や自殺ということでもいいか。 委員 対策のところには地域や職域のことが書いてあるからそういうことでもいいと思う。 委員 こころの健康は大変大事なことだと思う。小さいころから、年配になっても大事なこと。最近、よく聞く発達障害について一言もでてこないのはなぜかなと思う。 事務局 発達障害については、発見から適切な支援・療育がスムーズに受けられることが</p>

会長	大切で、発見については母子保健計画で扱っている。
委員	いろいろな病気や障害があると思うが、この健康プランの中でどこまで踏み込んでいくかがひとつのポイントだと思う。こころの健康といえば各自分野が広すぎるのでこのプランの中ではどこまで踏み込んでいくかを意識したほうがよしまとまると思う。こころのところが一番大事なところで、健康プランで国が市に要求しているのは生活習慣病の予防が中心になっているのは確か。生活習慣病の予防に、例えばがんや脳卒中や糖尿病とか心疾患、そういうところに集約していくところで対策を考えていくということが重要。
委員 会長	今言われていることは、大事なことで市に尋ねたところ、P5に書いてあるように市には総合計画が先に立っていて、子供のこととか発達障害とかについては、次世代育成支援計画があると聞いた。そうであれば、生活習慣病のところを絞り込んでいけばいいよねということを確認した。
委員	それならそのことを前文に明記したらよい。
委員 会長	健康プランを考えたときこういうことを目的としてどこまで責任をもって立てるか分からないということだね。
委員	P20に、例えば2)現状と目標というところがあって、その中の対象が6年であったり5年であったり、しかも現状がH23であったりH21であったりしている。これでいいのか。
教育委員会 事務局	小5はたぶん全国の調査をしていない。6年生だけだと思う。 P20の活用統計については確認し、間違いがあれば訂正したい。 南砺市健康プランについては、P1に食生活や運動習慣の変化によって生活習慣病が増加し介護や病気が増えているということで生活習慣病の予防を重点としている。5Pの計画の特色というところでは、生活習慣病の予防、重症化の予防強化をうたっているところである。
会長	ということでひきもりとかは課題としてはあるが、P1に「早世や障害の原因となっている生活習慣病や自殺の予防に重点をおいて」となっている。これがすべてだね。
委員 会長 事務局 会長 事務局 委員	了解した。 このプランは市民に配るんだよね。 健康づくりに関しての普及版を配るというよりは広報に掲載したいと思っている。 前回、難しい言葉の指摘があったが、それはわかりやすい言葉で作りたいと思っている。 P25に休養について書いてあるが、現状と目標として「睡眠による休養を十分とれていない者の減少」を目指すのか、市民の健康を目指すのか、言っていることは同じなのかもしれないがどっち側から考えて狙うのかなと思った。狙うのは市民の健康という気がするが、元気で明るい市民を増やすというようなプラス的な言葉や表現の方がいい。表現の仕方なのだが、私たち市民に何を求めるかを考えたらよい。睡眠により休養が十分とれている人の増加としたらよいかも。
委員 委員	表現といわれたので、合わせて言うのだが、例えばP20の2)現状と目標で「国同様」という言葉がたくさん入っているが国の目標値がどこにも出てないので何が国同様の数値なのか分かりにくい。国の目標と市の目標の数値を並べて明記したらいい。そうでないと国同様では分かりにくい。
事務局	目次に記載してあるとおり、別表で目標値の一覧を作りたいと思っている。一覧には国の現状と目標値、そして南砺市のものを書く予定である。
委員	ページごとに読んでいくのにいちいち一覧を見ないといけないのは分かりにくい。市の目標と国の目標を並べれば見やすい。そうすれば目標設定の考え方の欄もいらなくなるのでは。市の目標と国の目標と書いて数字を入れてもらえばそれでいい気がする。これは見やすさ読みやすさの工夫だと思う。
委員	前回と今回と話が違うように思う。確か前はこのプランは一般家庭に配られると聞いたから分かりやすくしてくださいと言ったので、今聞いたらこれは出ませんという。健康プランのダイジェスト版なら分かりやすいもので出せばいいと思う。これが市民に出ないのならこのままでもよいかと思う。ただ、今話題にでてた目標の表記については、市民に出ないにしてもちょっと違和感を感じる。
会長 委員	私もみんなに配るようなことを聞いたように思う。 スポーツプランも厚いものと概要版を出している。概要版は市民向けに圧縮してわかりやすくなっている。これは結構一般に出回っているが、厚いものは主要ポストだけに回る。
事務局	前回ご指摘があって、その時点では、A3で表裏の1枚か2枚ぐらいのダイジェスト版を考えていたが、回覧物と一緒にいくとどこかへ行ってしまふかもしれない。策定作業中にいろいろ考えた結果、見てもらえる確率とかを考えると広報本紙にのせていくほうがベターではないかと思う。
委員	私はダイジェストならダイジェストでいいし、これだったらこれでいいが目標値のところはこのままでは分かりにくいので国の目標値をわかりやすく

事務局	出した方がいいかなと思う。
委員	そのようにしていきたいと思う。
事務局	広報と言われたが毎月毎月出すというのはどうかと思う。
	小出しで何回もとは考えていない。1回で全部というのもプランでスペースをとってしまうことは無理かなということで2回ぐらいに分けたほうがよいのかなという思いを持っている。
委員	A3の両面で保管できるようなものにしておかないと。広報ははじめは見るかもしれないが2~3ヶ月したらもう忘れてしまう。
事務局	いつも中に折り込んである健康カレンダーのような厚めのもので差し込むことも考えられる。
委員	私は別冊にしたほうがよいと思う。
委員	P5の南砺市らしさを生かした施策みたいのはよい。全国でプランを策定しているので南砺市らしさを出すのはいいと思う。せっかくなので南砺の地域医療を守り育てる会の活動を写真つきで出してほしい。
	すごくいいと思ったのは、P24のほっとあつとなんと体操。これは南砺市ならでは。是非ホームページに掲載してクリックしたら流れて見れるようにするとかしてほしい。ほかにもあると思うがぜひ打ってでてほしい。また世界文化遺産とかも書いてあるが他の県や市町村から南砺市に来て元気になってもらえるように南砺のそういうところをアピールしてほしい。そのためには是非ホームページに掲載をしてほしい。食育計画も南砺には豊かな地産地消の観点で運動はあるので、そこでも南砺市らしいものがあつたらいいなと思う。
委員	今のところはP31のところかなと思う。先程もいったように健康日本21というのは、ひとつのキーワードは生活習慣病の予防、もうひとつのキーワードは協働だと思う。南砺市はいろいろな組織と協働しているいろいろなことをしているということのPRができるのはP31からP34のところ。
	「南砺の地域医療を守り育てる会」も市民組織のところにあたる。
	南砺で集まってマイスターをしたり、そういうのを新聞でみて市外のものはずごとと思う。そういう特徴をわりと伝統的な食改、ヘルポの中に新しいものを入れていくのも手だし、さっきの体操もそうだし、南砺はちゃんとやっているというところをどんどん出して写真をどんどん載せていってほしい。
	ダイジェスト版でない冊子のもは県とか関係主要ポストに回っていく。
	南砺市が他と違うところの打ち出しは意外とこのP31~だと思うのでその充実も図っていくとよい。
委員	市民マイスターで地域のみなさん用のすこやかなんどの冊子を作った。
	例えばこのような分かりやすいものができればいい。各課に関係するサークルもいっぱいあるがそうでないサークルもいっぱいあるので、できるだけ市民全体をまきこむ形にすれば浸透もするし広まりもするのかなと思う。
	地域回想法も話が進んでいる。サロンとか公民館でそういうものが取り入れられないか、高齢者の孤立を防げないかという話がでている。
	そういう住民の動きも入つたらいいと思う。
会長	その他何かあるか。
委員	今、介護予防か何かで柔道整復師である接骨院の先生が出向いて介護予防の講習会をしている。これも新しい試みなのでもっとアピールしたらよいのでは。
	先日、兵庫県の播磨町ヘスポーツクラブの視察でいったとき、高齢者対象の貯筋体操をしていた。東京都が推進している第3事業で指導プログラムをやっている。
	昨日はテレビでも北海道旭川市の住民が非常に健康だとやっていた。
	福光スポーツクラブでも2年計画で来年度から準備しようと思っている。
委員	民生部健康課との連携も今後していったらいいと思った。
	食育プランはまだないと言っていたが、佐久市に行ったとき漬け物をよく食べるということからはじめて減塩の食事をしていた。
	各地域で特徴的な取り組みしているというのは市民はとびつきやすい。市民がとびつくような、市民に取り入れやすい取り組みがあればよい。
委員	P20の朝食を食べる子のH23の割合が87.4%というのは結構高いと思う。これは南砺市のデータか。朝食は食べなくてもよいという先生もいるが。
事務局	南砺市のもの。
会長	長年校医をやっていて保健委員というのがあるのだが、結構朝食を食べている子供たちの率は高い。ただ食べている中身については調べていないみたいだが。
委員	とやま環境財団でデータを出したが南砺市と小矢部市は90%以上と高い。
	びっくりした。富山市に行くと60何%。そのうちの3人に一人が牛乳だけ飲んでいくとかパンをくわえて走るという具合。
	高いのはやっぱり南砺市は核家族が少ないからかも。
会長	歯科で何かあるか。

委員	趣旨目的があって流れがあってある程度の総論的な計画で十分だと思う。これをもとにどう動くかがすぐ問題。 だからこの会議以外にもそれぞれの会を代表した委員が一同に会して、意見交換するなどしてお互いの組織を利用していくような組織づくりが必要と何年も前から思っている。歯科についても、行政がどう関わるかを考えたとき、行政そのものが縦割りではなく横とのつながりで情報公開して歯科医が一般の声を聞いたときどうすればよいかという方向づけをしてほしい。行政としてはここまでできるというようなことを書いた小さい用紙を作ってもらって、患者さんと話しているときにちょっとその紙を見せてここに聞いてみられと言ったときに相談しようかなと思う人が10人にひとりでもいればそれはすごいこと。横の連携ができればもっといいものができる。市は口腔外科を作ったので内科の先生とタイアップして嚥下障害を外来でみるシステムを作ればよい。 毎日の診療で困っている人がいれば地域包括へ電話して、介護予防指導をお願いしている。高齢になった嚥下障害対策だけでなく、予防するためには若い年代にやれることはいっぱいあるという話が大事。
会長	みなさん思いはいろいろあるかと思う。とてもいいことだが今回はプランをまとめる会なので、行政の方が今日の意見をさらに盛り込んでいくということでこれでよいか。いつごろこれができるのか。
事務局	3月末には成案をまとめたい。
会長	会はこれで終わり今日意見を盛り込んであとはおまかせになるのか。
事務局	かなり多くの意見をいただいたので、そのへんをもう1回検討したうえでそれなりの形になったら会長に相談させていただくということでしょうか。ある程度一任をいただいて整理したいがそれでよいか。さきほどダイジェスト版のことばかり言っていたが、ホームページは当然の手法としてフルに活用したい。
会長	会長一任というか自分より知識がある人がいっぱいいるし、熱い思いの人が他にもたくさんいるので、複数に聞いてほしい。
委員	ただ、これは表紙をみただけでは何もわからない。 ピンとこない。「健康は確かめ守り生かすもの」と県からでている。これぐらいどーんと出さないと。みなさんの責任でなんとかしてくださいで内容がなまぬるい。
事務局	基本的なところの了解をもらえば、字句や言い回しの整理に合わせレイアウトなども工夫していきたい。
会長	できればもう1回だけ全員に配って直してもらってもってきてほしい。情熱をもってる人がいるのでそれを反映させないわけにはいかないと思う。 是非そういう意見を踏まえていったほうがいいと思う。話もまとまってきたようなのでその他にご意見がなければこれで終了したい。よろしいか。
(委員)	はい。
会長	それでは、もう一度だけみんなに配ってその段階で意見があればまたそれを反映させてほしい。
事務局	今日いただいた意見を踏まえ対応を整理し、みなさまに配布し、ある程度期限を切らせていただいてご意見を頂戴し、そのうえで最終的に関係の方に確認いただくということでもいいか？ そしたら最後にあがった意見だけは教えてほしい。
会長	私はこれでよいので送らなくてよい。
委員	そういう人がいればそれでいいと思う。そういう人は手を挙げてもらったらいいいのでは。
会長	ここで今日いただいたご意見を整理すると
事務局	・計画に国の目標値をいれる ・目標を明確にし前向きな表現にする ・市民活動を追加する ・A3両面 2枚ぐらいでダイジェスト版か普及版を作成し全戸配布したほうが良いということだったと思う。
委員	P31にある「南砺の地域医療をまもり育てる会」というものの位置づけというか自分たちにはあまり認識がないがどんな組織か。
委員	会員は約200人。毎年30～40人の受講生が5回のマイスター養成講座を受講している。病院関係者 住民 高齢者施設の人 関心のある人 などが集まっている会である。
委員	一般の人は知らない。こういう組織があるならもっと活用したらよい。
会長	健康プラン修正の資料を送らなくてよい人は挙手されたい。 (1名挙手)
会長	では、他の人には送って全員で校正した形にする。最終的には私がまとめたいと思う。
(2)その他	特になし